

表3-1 アセトアミノフェン 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)
 合致率 36/60=60.0% ⇒ JSPSS-2(単剤) 38/60=63.3% ⇒ JSPSS-2(配合剤) 55/60=91.7%

アセトアミノフェン(単剤)

合致率: IPCS-PSSとJSPSS-1 2/2=100%、IPCS-PSSとJSPSS-2(単剤) 2/2=100%、IPCS-PSSとJSPSS-2(配合剤) 2/2=100%

No.	年齢	性別	摂取物質	臓器系別スコア													JSPSS-2(配合剤)	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果						
				摂取経路	消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺激				死亡	IPCS-PSS	JSPSSの相違点	JSPSS-2(単剤)		
1	18	F	アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬	経口														0	0		0				(3時間40分後) 77 μg/mL
2	29	F	アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬	経口	1							3						3	3		3				(1時間後) 300、(6時間後) 177、(38時間後) 80.4(単位不明)

アセトアミノフェン(配合剤、多剤併用) 1/4

合致率: IPCS-PSSとJSPSS-1 34/58=58.6%、IPCS-PSSとJSPSS-2(単剤) 36/58=62.1%、IPCS-PSSとJSPSS-2(配合剤) 53/58=91.4%

No.	年齢	性別	摂取物質	臓器系別スコア													JSPSS-2(配合剤)	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果						
				摂取経路	消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺激				死亡	IPCS-PSS	JSPSSの相違点	JSPSS-2(単剤)		
3	33	M	アセトアミノフェン含有総合感冒薬3種	経口														0	0		0				(15時間30分後) 2.6 μg/mL
4	22	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1		1											1	0		1				(4時間30分~23時間30分後) 118.6 μg/mL、(9病日) 30.4 μg/mL
5	21	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬2種、鎮痛薬	経口						1								1	0		0				(0病日) 117 μg/mL、(>7時間半後) 34.8 μg/mL、(5時間半後) 153 μg/mL、(10時間半後) 46.2 μg/mL、(2~6病日) ND、(0病日) 117 μg/mL*、(0~7時間30分後) 34.8 μg/mL*、(2~6日) 検出下限以下*
6	16	F	アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬	経口	1		1				1							1	1		1				(2時間30分) 47.7 μg/mL
7	13	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1		1											1	1		1				(18時間後) 2.0 μg/mL以下
8	19	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1													1	1		1				(13時間後) 98.5 μg/mL
9	1	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1													1	1		1				(4時間後) 80 μg/mL
10	15	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1													1	1		1				(4時間後) 105.9 μg/mL
11	15	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1		1											1	1		1				(3時間40分後) 35 μg/mL
12	1	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1													1	1		1				(2時間30分後) 145 μg/mL、(14時間30分後) 21.4 μg/mL
13	19	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1													1	1		1				(6時間後) 14.3 μg/mL
14	30	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1			1	1									1	1		1				(3時間後) 67.5 μg/mL、(9時間後) 12.025 μg/mL、(12時間後) 5.135 μg/mL
15	19	M	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アロコール	経口	1		1	1	1									1	1		1				(1時間15分後) 31.4 μg/mL、(1時間半後) 35.91 μg/mL、(13時間半後) 3.84 μg/mL、(1病日) ND、(1時間15分後) 31.4 μg/mL*、(1病日) 検出下限以下*
16	18	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、イブプロフェン含有解熱鎮痛薬、他	経口	1	1	1	1										1	1		1				(8時間後) 24.9 μg/mL

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	臓器系別スコア										JSPSS-2(配合剤)	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝臓	腎臓	血液	筋肉	皮膚				眼	刺創
17	22	M	アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬、医療用アレルギー用剤、アルコール	経口	1		1										1	1	(5時間後) 34.1 μg/mL
18	47	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アルコール	経口	1												1	1	(0病日) 20.9 μg/mL
19	19	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬	経口	1					1							1	1	(4時間後) 62.1 μg/mL、(8時間50分後) 31.8 μg/mL
20	26	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、マイナートランキライザー、他	経口	1		1										1	1	(7時間後) 52.926 μg/mL
21	30	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、ベンゾジアゼピン系、SSRI、他	経口	1		1										1	1	(4時間30分後) 0.01 μg/mL
22	26	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、イブプロフェン含有解熱鎮痛薬	経口	2												1	1	(4時間後) 32.788 μg/mL、(13時間後) 3.723 μg/mL
23	13	F	アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬、他	経口	1												1	1	- 転院
24	20	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アルコール	経口	1		1										1	1	(11時間15分後) 7.5 μg/mL、(33時間後) 1.0 μg/mL未満
25	21	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アルコール	経口	1					1							1	1	(15時間後) 25.12 μg/mL
26	24	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、ベンゾジアゼピン系	経口	1		1				1						1	1	(17時間30分後) 26.9 μg/mL
27	22	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1												1	1	(3時間後) 2.3 μg/mL、(14時間後) 0.02 μg/mL
28	41	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1		2	2	1				1				0	0	(3病日) 2 μg/mL
29	35	M	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1		2										0	2	(16時間10分後) 14.2 μg/mL
30	32	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、イブプロフェン含有解熱鎮痛薬	経口	1		2										0	2	(5時間後) 42.7 μg/mL
31	36	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬2種、アルコール、他	経口	1		2	2									0	2	(4時間後) 全血 86 μg/mL、血清 65 μg/mL、(10時間後) 全血 24 μg/mL、(1病日) 65 μg/mL*
32	35	M	アセトアミノフェン含有総合感冒薬2種、他	経口	1		2										0	2	(2時間後) 24.31 μg/mL、(9時間後) 33 μg/mL、(18時間後) 22.83 μg/mL、(24時間後) 2.89 μg/mL
33	25	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、催眠鎮静薬	経口	1		2										0	2	アセトアミノフェン(1時間後) 27.1 μg/mL*、ジフェンヒドラミン(1時間後) 0.25 μg/mL*
34	19	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、ベンゾジアゼピン系、他	経口	1		1			2							0	0	(2時間後) 76.2 μg/mL

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝臓	腎臓	血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	死亡	IPCS-PSS	JSPSS	IPCS-PSSとJSPSSの相違点	JSPSS-2(単剤)	JSPSS-2(配合剤)	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *弘前大学を窓口にし、分析した結果
35	31	M	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、アルコー ル	経口		2											2	0	EZV1M4	0	2	2	(1時間45分後) 25.4 μg/mL	
36	21	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	1	2	2										2	1	興奮、洞転脈	1	2	6	(3時間30分後) 167.79 μg/mL、(5時間30分後) 107.6 μg/mL	
37	27	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	1	2											2	1	JCS II-10~20	1	2	6	(1時間30分~12時間30分後) 49.6 μg/mL	
38	18	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	1	2	2										2	1	興奮	1	2	9	(5時間後) 107 μg/mL、(18時間後) 7.2 μg/mL、(7時間後) 91 μg/mL*	
39	17	M	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	2	1	1		1								2	1	頻回の嘔吐	1	2	2	(7時間40分後) 20.5 μg/mL	
40	15	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、イブプロ フェン含有解熱鎮痛 薬	経口		1	2										2	1	呼吸困難	1	1	2	(1時間30分後) 45.4 μg/mL、(4時間30分後) 20.1 μg/mL、(12時間30分後) 2.3 μg/mL	
41	30	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	1	2	2	2	2								2	2		2	2	11	(2時間後) 2.0 μg/mL以下、(17時間後) 4.2 μg/mL	
42	48	M	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	1	2	2					1					2	2		2	2	4	(4時間45分後) 74.809 μg/mL	
43	18	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	2	2	2		1								2	2		2	2	2	(6時間30分後) 42.35 μg/mL、(35時間後) 2 μg/mL	
44	23	M	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、ベンジ アゼピン系	経口		1	2			2	1						2	2		2	2	10	(8時間30分後) 2.3 μg/mL	
45	28	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、ホウ酸、 消毒薬	経口	1	1	1						2				2	2		2	2	-	(6時間後) 151 μg/mL、(12時間後) 24.3 μg/mL	
46	19	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬2種	経口		1	2	1	1								2	2		2	2	6	(10時間後) 127 μg/mL、(16時間半後) 34.56 μg/mL、(10時間後) 108 μg/mL*、(16時間後) 32.1 μg/mL*	
47	27	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、アセトア ミノフェン含有解熱鎮 痛薬、他	経口	1							2	1				2	3	血小板減少症	3	3	19	(14時間後) 29.7 μg/mL	
48	22	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口			3		2								3	0	EIV1M1	0	3	5		
49	23	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、精神安 定剤、ベンジアゼピ ン系、他	経口		2	2		1								3	0	意識障害、HCO3異常	0	3	2	(30分後) 2 μg/mL以下	
50	38	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬、ベンジ アゼピン系、アルコー ル	経口		3	3										3	0	JCS III-100	0	3	不明	(2時間後) 50.2 μg/mL、(4時間後) 22.3 μg/mL	
51	23	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	2	3	3	1				1					3	1	JCS 300	1	3	2	(10時間40分後) 8.4 μg/mL	
52	25	M	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口	1	2	2		2	1							3	2	JCS III	2	3	7	(4時間後) 43.44 μg/mL	
53	31	F	アセトアミノフェン含有 総合感冒薬	経口		3	3	2	2	2			3				3	2	EIV1M1、OPK 16900	2	3	8	(3時間40分後) 125.1 μg/mL	

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	臓器系別スコア										死亡	ICG-PSS	JSPSS	IPGS-PSSとJSPSSの相違点	JSPSS-2(副作用)	JSPSS-2(配合剤)	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果	
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚									眼
54	24	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アセトアミノフェン含有解熱鎮痛薬、ベンゾジアゼピン系、SSRI、他	経口			3	3	2								3	2	JCSⅢ-200、ショック	2	3	8	(0病日) 176.1 μg/mL、(1病日) 1.4 μg/mL
55	24	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1						3						3	3		3	3	9	(1病日) 4.9 μg/mL
56	26	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬	経口	1						3						3	3		3	3	15	(12時間後) 196 μg/mL
57	22	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、アルコール	経口			2	1			3						3	3		3	3	13	(7時間30分後) 24.2 μg/mL
58	16	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、他	経口			2				3	2					3	3		3	3	25	(15時間後) 21.2 μg/mL、(40時間後) 2.2 μg/mL
59	38	F	アセトアミノフェン含有総合感冒薬、催眠鎮静薬	経口	1		2	1			3	2					3	3		3	3	19	(16時間後) 85.3 μg/mL
60	30	F	アセトアミノフェンプロムフレリル尿薬	経口		3	3	3	1		3		2				4	4		4	4	10	アセトアミノフェン:(3時間後) 260.8 μg/mL、プロムフレリル尿薬:(3時間後) 98.60 μg/mL

表3-2-1 アセチルサリチル酸(アスピリン)単剤 中毒症例の重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

アセチルサリチル酸(アスピリン)中毒症例のIPCS-PSSとJSPSS-1、JSPSS-2の合致率:(PSSとJSPSS-1)16/36=44.4% ⇒ (PSSとJSPSS-2)32/36=88.9%

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 12/25=48%、IPCS-PSSとJSPSS-2 25/25=100%

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	臓器系別スコア										ICPS JSPSS -PSS S-1	IPCS-PSSとJSPSSの相 違点	JSPSS S-2	入院 日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
					消化 器系	呼吸 器系	神経 系	循環 器系	代謝 系	肝機 能	腎機 能	血液	筋肉	皮膚						眼	刺創
1	5	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1											1	0	嘔吐、疼痛	1	3	0病日(2時間後)36.5 μg/mL
2	21	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1	1	2									1	0	聴覚障害、痙攣	1	-	転院、1病日(10時間45分後)469.1 μg/mL、(20時間15分後)278.6 μg/mL
3	23	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1											1	0	嘔吐	1	2	0病日(4時間後)217 μg/mL
4	15	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1											1	0	聴覚障害	1	0	0病日(5時間50分後)373 μg/mL
5	46	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1		1						1	0	発症、期外収縮、GPTの上昇	1	-	転院、1病日(22時間後)339 μg/mL
6	24	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1											1	0	嘔吐、胸部不快感	1	2	(7時間15分後)230.1 μg/mL*
7	17	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1								1			1	0	嘔吐、めまい	1	2	1病日(6時間後)365 μg/mL、2病日(34時間後)37 μg/mL
8	17	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		2	1								1	1		1	13	(1病日)235 μg/mL、(2病日)306 μg/mL
9	42	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1								1	1		1	4	(1病日)520 μg/mL
10	20	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		2	1								1	1		1	6	(32時間35分後)41.8 μg/mL
11	3	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		2	1								1	1		1		(測定日不明)70.6 μg/mL
12	26	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1								1	1		1		(12時間後)460 μg/mL、(55時間後)269 μg/mL、(151時間後)2 μg/mL未満
13	23	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1								1	1		1	6	(11時間後)507 μg/mL
14	31	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1								1	1		1	6	(12時間後)338 μg/mL、(36時間後)169 μg/mL
15	29	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口		1	1	2								1	1		1	7	(1病日)27.1mg/dL
16	20	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1			1					1			1	1		1	7	(12時間後)403 μg/mL、(15時間40分後)106 μg/mL(吸着後)、(56時間後)2 μg/mL未満
17	23	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1								1	1		1	3	(2時間14分後)516 μg/mL、(127時間後)2 μg/mL未満
18	20	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	1								1	1		1	4	(4時間後)664 μg/mL、(9時間後)431 μg/mL
19	21	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		2	1					2	2		2	0	蛋白尿、凝固障害	2	11	(14時間30分後)575 μg/mL、(33時間30分後)390 μg/mL
20	19	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	2		1									2	0	繰り返しの嘔吐、聴覚障害	2	5	(6時間30分後)551 μg/mL
21	18	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	2								2	1	凝固障害	2	5	(8時間30分後)523 μg/mL
22	20	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		2	2	1							2	1	興奮、CPK 2800	2	9	(6時間後)757 μg/mL、(30時間後)48 μg/mL、(54時間後)20 μg/mL以下
23	21	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		2	2	1							2	1	興奮、洞転脈、雑音	2	8	(13時間後)31.0 μg/mL
24	3	M	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口									2			2	1	凝固障害	2	13	(57時間後)76.8 μg/mL、(69時間後)57.0 μg/mL、(74時間後)52.6 μg/mL、(84時間後)26 μg/mL、(100時間後)7.9 μg/mL、(115時間後)0.6 μg/mL
25	30	F	アスピリン(解熱鎮痛薬)	経口	1		1	2								2	2		2	7	(1病日)204 μg/mL

表3-2-2 アセチルサリチル酸(アスピリン)多剤、アルコール併用 中毒症例の重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 4/11=36.4%、IPCS-PSSとJSPSS-2 7/11=63.6%

No.	性別	年齢	性	摂取物質	経路	臓器系別スコア											ICPS -PSS	JSPSS S	IPCS-PSSとJSPSSの相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果	
						消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼							創傷
26	14F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、イブプロフェン含有解熱鎮痛薬、他	経口	1												1	0	嘔吐	1	9	(24時間30分後)2μg/mL未満
27	37F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、鼻炎用内服薬	経口	1		1										1	0	頭痛、嘔吐	1	3	(10時間後)283.6μg/mL
28	24F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、ベンゾジアゼピン系、他	経口			1										1	0	傾眠	0	5	(1時間20分後)425.46μg/mL
29	22F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、イブプロフェン含有解熱鎮痛薬	経口	1		1	1	1								1	1		1	9	(19時間後)437μg/mL、(22時間10分後)279μg/mL、(50時間後)156μg/mL、(163時間15分後)2μg/mL未満
30	18M			アスピリン含有解熱鎮痛薬、アルコール	経口	1		2	2	1								2	1	興奮	2	-	軽院、(1病日)860μg/mL
31	19F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、ベンゾジアゼピン系	経口	1		2	2	1								2	1	意識障害、腎機能不全	1	9	(10時間後)806μg/mL
32	20F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、他	経口	1	1	2		1								2	2		2	2	(2時間後)255.6μg/mL*
33	25F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、アセトアミノフェン含有総合感胃薬、イブプロフェン含有解熱鎮痛薬、抗コリンエステラーゼ剤、他	経口			2										2	2			6	(0病日)409μg/mL、(1病日)192μg/mL、(4病日)2μg/mL未満
34	31F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、ベンゾジアゼピン系、鎮咳去痰薬、他	経口			2										2	2			4	
35	24M			アスピリン含有解熱鎮痛薬、ベンゾジアゼピン系、イブプロフェン含有総合感胃薬、他	経口	2		1		3								3	1	K 7.2	1	-	持病(抑うつ状態)のカウセンゲル目的で入院中、(20時間後)277.95μg/mL*
36	29F			アスピリン含有解熱鎮痛薬、α,β遮断薬、ACE阻害剤、他	経口			2		3								3	2	ショック	2	不明	(4時間10分後)10.07μg/mL

表3-3-1 環系抗うつ薬(単剤) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

環系抗うつ剤中毒症例のIPCS-PSSとJSPSS-1、JSPSS-2の合致率:(PSSとJSPSS-1)36/37=97.3% ⇒ (PSSとJSPSS-2)37/37=100%
 合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 10/10=100%、IPCS-PSSとJSPSS-2 10/10=100%

No.	年齢	性別	摂取物質(成分名)	摂取経路	臓器系別スコア										IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果	
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚					眼
1	22	F	塩酸ミアンゼリン	経口			1									1	1	2	
2	3	F	塩酸イミプラミン	経口			2									2	2	7	
3	25	F	塩酸ロフェブラミン	経口			2									2	2	9	
4	21	F	アモキサピン	経口			2	1	1							2	2	2	
5	25	F	アモキサピン	経口			2	2								2	2	3	
6	27	M	アモキサピン	経口			3	2	2		2		3			3	3	35	アモキサピン:(2病日)820mg/mL、(3病日)510mg/mL、(4病日)346mg/mL、(5病日)330mg/mL
7	34	F	塩酸アミトリプチリン	経口			3									3	3	3	
8	25	F	塩酸アミトリプチリン	経口			3									3	3	3	
9	43	F	塩酸クロミプラミン	経口			3									3	3	5	
10	40	F	アミトリプチリン	経口												4	4	0	

表3-3-2 環系抗うつ薬(多剤、アルコール併用) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

環系抗うつ薬(多剤、アルコール併用) 1/2

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 26/27=96.2%、IPCS-PSSとJSPSS-2 27/27=100%

No.	年齢	性別	摂取物質(成分名)	摂取経路	臓器系別スコア											IPCS-PSSとJSPSSの相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果					
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼					刺創	死亡			
11	2	F	アモキサピリン、リスベリドン、クロキサゾラム、エチゾラム	経口															0	0				
12	36	F	アモキサピリン、ジアゼパム、エチゾラム	経口																0	0			
13	33	M	塩酸ミアンセリン、エチゾラム	経口																0	0			
14	24	F	マプロチリン、カフェイン、マレイン酸フルボキサミン、フルニトラゼパム、酒石酸ソルピデム、ジアゼパム	経口																0	0			
15	30	M	塩酸イミプラミン、フルニトラゼパム	経口			1													1	1	2		
16	22	F	アモキサピリン、塩酸プロカテロール、エチゾラム	経口			1													1	1	0		
17	28	F	アモキサピリン、塩酸ミルナシプラン、塩酸ミトリン、アルプラゾラム	経口	1		1													1	1	2		
18	20	F	塩酸アミトリプチリン、フルニトラゼパム	経口			1													1	1	9		
19	30	F	塩酸クロミプラミン、ハロペリドール、マレイン酸レボプロマジン、フルニトラゼパム、エスタゾラム、ロフラゼン酸エチル	経口	1															1	0	悪心	1	1
20	34	F	塩酸クロミプラミン、プロチゾラム	経口			2													2	2		2	7
21	31	F	塩酸クロミプラミン、マレイン酸フルボキサミン、酒石酸ソルピデム、アルプラゾラム、プラゼパム、トリアゾラム	経口			1													1	1		1	3
22	27	F	塩酸クロミプラミン、マレイン酸レボプロマジン、塩酸ミルナシプラン、プロチゾラム、フルニトラゼパム、ニトラゼパム、エスタゾラム	経口				2												2	2		2	3
23	37	M	アモキサピリン、アルプラゾラム	経口			2													2	2		2	5
24	30	F	アモキサピリン、メイラックス、ロヒプノール、テプロメール	経口			2	1												2	2		2	12

表3-4-1 ブロムワレリル尿素(単剤) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

ブロムワレリル尿素中毒症例のIPCS-PSSとJSPSS-1、JSPSS-2の合致率:(PSSとJSPSS-1)25/28=89.3% ⇒ (PSSとJSPSS-2)25/28=89.3%
 合致率:IPCS-PSSとJSPSS 18/21=85.7%、IPCS-PSSとJSPSS-2 18/21=85.7%

No.	年齢	性別	摂取物質(成分名)	摂取経路	臓器系別スコア													死亡	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果			
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点					IPCS S-1	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	
1	35	F	ブロムワレリル尿素	経口	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	興發、CPK 1688	1	-	臭化物:5病日56.0mg、入院中
2	21	M	ブロムワレリル尿素	経口																2		2	不明	
3	20	F	ブロムワレリル尿素	経口	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	6	
4	31	F	ブロムワレリル尿素	経口	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	4	(1病日)4.6 μg/mL*、(2病日)検出下限以下*
5	37	M	ブロムワレリル尿素	経口			2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	pH 6.5	2	3	
6	25	F	ブロムワレリル尿素	経口			2			1										3	CPK 10990	2	6	
7	39	F	ブロムワレリル尿素	経口			3													3		3	3	
8	23	F	ブロムワレリル尿素	経口			3													3		3	1	
9	27	M	ブロムワレリル尿素	経口		3	3	1	1	1										3		3	9	
10	25	M	ブロムワレリル尿素	経口	1	3	3	3	1	1										3		3	5	
11	18	M	ブロムワレリル尿素	経口	1	2	3		1	1										3		3	5	
12	21	F	ブロムワレリル尿素	経口	1	3	3	2	1	1										3		3	13	
13	23	F	ブロムワレリル尿素	経口		3	3													3		3	7	
14	19	F	ブロムワレリル尿素	経口			3	3	1	1										3		3	5	
15	24	M	ブロムワレリル尿素	経口	1	3	3													3		3	15	
16	27	F	ブロムワレリル尿素	経口			3	3	2	2										3		3	5	223.9 μg/mL(来院時)、56.9 μg/mL(来院時+20.5時間後)、18.6 μg/mL(来院時+28.5時間後)、0(来院時+37時間後)
17	60	M	ブロムワレリル尿素	経口		3	3		1	1										3		3	7	
18	27	F	ブロムワレリル尿素	経口			3													3		3	3	
19	32	F	ブロムワレリル尿素	経口		2	3	2												3		3	3	
20	36	M	ブロムワレリル尿素	経口	1	3	3	3	1	2										3		3	29	フェニバルビタール:(0病日)7.8 μg/mL、プロムワレリル尿素:(0病日)102 μg/mL、(3病日)22.9 μg/mL、(5病日)検出下限(0.5 μg/mL)以下、プロムワレリル尿素:(0病日)102 μg/mL*、(3病日)22.9 μg/mL*、(5病日)検出下限(0.5 μg/mL)以下*
21	25	F	ブロムワレリル尿素	経口			3													3		3	4	

表3-4-2 プロムフレリル尿素(多剤併用) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 7/7=100%、IPCS-PSSとJSPSS-2 7/7=100%

No.	年齢	性別	摂取物質(成分名)	摂取経路	臓器系別スコア										ICPS -PSS	JSPSS S-1	IPCS-PSSとJSPSS-1 の相違点	JSPSS S-2	入院 日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
					消化 器系	呼吸 器系	神経 系	循環 器系	代謝 系	肝機 能	腎機 能	血液	筋肉	皮膚							眼	刺創
22	30	F	プロムフレリル尿素、 アスピリン、イブプロ フェン、カフェイン、他	経口	1		2										2	2				
23	19	M	プロムフレリル尿素、 アルコール	経口	1		3	3	1	1							3	3		3	3	臭素化合物:1病日90mg/mL、DHP後 101mg/dL
24	16	F	プロムフレリル尿素、 アセトアミノフェン、他	経口			3			3	1						3	3		3	21	
25	28	F	プロムフレリル尿素、 ベンゾジアゼピン系、 他	経口			3	2									3	3		3	3	
26	25	M	プロムフレリル尿素、 パモ酸ロドロキシジン、 他	経口			3	3		1							3	3		3	7	
27	17	F	プロムフレリル尿素、 エテンザミド、無水カ フェイン、ベンゾジアゼ ピン系、他	経口	1	3	3	2	2	1							3	3		3	7	プロムフレリル尿素:(9時間30分後)49.3μg/mL、(15時間30分後)27.9μg/mL、(21時間30分後)11.5μg/mL、(30時間30分後)1.3μg/mL、カフェイン:(9時間30分後)51.7μg/mL、(15時間30分後)46.2μg/mL、(21時間30分後)38.8μg/mL、(30時間30分後)33.5μg/mL、プロムフレリル尿素:(9時間30分後)118μg/mL*、(15時間30分後)46.6μg/mL*、(21時間30分後)30.9μg/mL*、(21時間後)8.6μg/mL*
28	24	F	プロムフレリル尿素、 イブプロフェン	経口	2		3	3	2								3	3		3	10	

表3-5-1 有機リン剤(単剤)中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

有機リン剤中毒症例のIPCS-PSSとJSPSS-1、JSPSS-2の合致率 (PSSとJSPSS-1)55/57=96.5% ⇒ (PSSとJSPSS-2)56/57=98.2%
 有機リン剤(単剤) 1/2

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 48/49=98%、IPCS-PSSとJSPSS-2 49/49=100%

No.	年齢	性別	摂取物質	ChE値	採取経路	臓器系別スコア										JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析結果等) *広島大学を窓口にし、分析した結果			
						消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚				眼	創傷	死亡
1	65	F	ピリミホスメチル	低下	経口														0	12	備考(血中濃度等の施設での分析結果) *広島大学を窓口にし、分析した結果 ピリホスメチル:(1時間30分後)0.6 μg/mL*、 (224~248時間後)0.03 μg/mL*
2	28	M	PAP	低下(軽度)	経口	1		2											2	13	
3	84	M	クロルピリホスメチル	不明(正常値なし)	経口						1								1	0	
4	68	M	MPP、EDDP	低下	吸入			1											1	10	
5	65	M	MEP	低下	経口	1		1											1	17	MEP:2540ng/mL
6	34	F	MEP、ジクロロホス	低下	経口	1		1											1	11	MEP:(5時間30分後)0.135 μg/mL*
7	38	M	ピリダフェンチオン	低下	経口	1		2	2										2	12	ピリダフェンチオン:3時間20分後8.9 μg/mL
8	57	F	MEP	低下	経口	1		1			1								1	-	入院中 MEP:(6時間35分後)0.4 μg/mL*、MNPP: (6時間35分後)0.01 μg/mL*
9	55	F	MEP	低下	経口	1				1									1	20	
10	78	M	エチルチオホス	低下	経口	1		2	3		1								3	64	
11	77	M	MEP	低下	経口	1		2											2	33	MEP:(0曜日)9940 μg/mL
12	70	M	PAP	不明(正常値なし)	経口			2											2	26	
13	59	M	MEP	低下	経口	1		2	2		1								2	不明	MEP:(1時間5分後)2.0 μg/mL*
14	71	M	MEP	低下	経口	1		1	2	2									2	不明	
15	61	F	MEP	低下	経口			2		1									2	116	
16	21	F	アセフェート	低下	経口			2	2		1								2	15	
17	41	F	イソキサチオン	低下	経口	2	2	2	2										2	35	
18	64	M	アセフェート	低下	経口	2		3	1		1								3	12	
19	55	F	DDVP	低下	経口			3	3										3	19	DDVP:(4時間後)0.1 μg/mL* EPN:(50分後)3.31 μg/mL*、P-ニトロフェノール: (50分後)検出下限以下*
20	86	M	EPN	低下	経口	1		2	3	2	2								3	不明	
21	49	M	MEP	低下	経口			2	2	3	2	2							3	28	
22	30	F	MPP	低下	経口			3	2	2		1							3	110	
23	64	M	イソキサチオン	低下	経口			3	3										3	50	
24	84	F	エチルチオホス	低下	経口			3	3	2									3	60	
25	64	F	ピリミホスメチル	低下	経口			3		3		1							3	31	
26	91	F	馬拉ソン	低下	経口			3	2										3	60	

No.	年齢	性別	性別 摂取物質	ChE値	摂取経路	臓器系別スコア										死亡	JPCS-PSS S-1	IPCS-PSSとJSPSSとの相違点	JSPS S-2	入院日数	備考 血中濃度等の自施設での分析値等 *広島大学を窓口にし、分析した結果
						消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚						
27	43	M	マラソン	低下	経口		3	2	1	1						3	3	3	17		
28	74	M	マラソン	低下	経口		3									3	3	3	49		
29	60	M	ダイアジノン	低下	経口	1	3	1								3	3	3	15	ダイアジノン:(2時間15分後)4.1 μg/mL*、(113時間後)検出下限以下*、IMP:(2時間15分後)6.2 μg/mL*、(113時間後)検出下限以下*	
30	70	F	MEP	低下	経口	1	3	1		2						3	3	3	不明	MEP:(9時間30分後)1.0 μg/mL*、(26時間後)0.6 μg/mL*、MNP:(9時間30分後、26時間後)検出下限以下*	
31	68	F	MEP	低下	経口	2	3	3	2							3	3	3	不明	MEP:(5時間20分後)検出下限以下*	
32	不明	M	マラソン	低下	経口	1	3	3	2	2						3	3	3	不明		
33	56	M	MEP	低下	経口	1	3	2	1	2		2				3	3	3	30	MEP:(9病日)9 μg/mL*	
34	68	F	MEP	低下	経口	1	3	2	1	1						3	3	3	14	マラソン:(1時間後)3.74 μg/mL*	
35	43	M	DMTP	低下	経口		3			3	1					3	3	3	不明	DMTP:(1病日)17.2ug/mL	
36	70	M	MEP	低下	経口		3									3	3	3	70	MEP:(1病日)1770ng/mL	
37	21	M	マラソン	低下	経口		3									3	3	3	50	マラソン:(3病日)168ug/mL	
38	69	F	マラソン	低下	不明		2	3		1						3	3	3	46	マラソン:(3病日)0.36 μg/mL*	
39	55	M	EPN	低下	経口	1	3	2	3	3	2					3	3	3	108	EPN:(0病日)8.1 μg/mL*、(1病日)1 μg/mL*、(2病日)0.6 μg/mL*、(31病日)検出されず*	
40	30	F	MEP	低下	経口	1	2	3	2	1						3	3	3	10	MEP:(1時間後)1.97 μg/mL*	
41	63	M	アセフェート	低下	不明	1	3	1	2	2	1					3	3	3	23	アセフェート:(3病日)1.5 μg/mL	
42	53	F	マラソン、MEP	低下	経口	2	3	3	2	1	2	1				3	3	3	8	MEP:(0病日)0.41 μg/mL*、マラソン:(0病日)0.067 μg/mL*	
43	65	M	マラソン、MEP	低下	経口		2	3	3	2	1	1				3	3	3	40	MEP:(10時間後)8.5 μg/mL*、(83時間後)7 μg/mL*、(131時間後)0.6 μg/mL*、(203時間後)0.5 μg/mL*、(251時間後)0.3 μg/mL*、(347時間後)0.2 μg/mL*、(443時間後)0.1 μg/mL*、(851時間後)<0.1 μg/mL*、マラソン:(10時間後)8.5 μg/mL*、(83時間後)2.5 μg/mL*、(131時間後)0.1 μg/mL*、(203時間後)<0.1 μg/mL*、(251時間後)<0.1 μg/mL*、(347時間後)<0.1 μg/mL*	
44	70	M	MEP	低下	経口		2	2	3			2				4	4	4	6	MEP:(3病日)2380ng/mL	
45	66	M	MPP	低下	経口		3	2	2			3				4	4	4	5		
46	80	F	ピリダフェンチオン	低下	経口			3	3		1					4	4	4	4		
47	55	M	マラソン、MEP	検査値なし	経口			3	2	3						4	4	4	2	MEP:(1時間20分後)1.79 μg/mL	
48	53	F	フェンチオン	低下	不明	2	3	2	1							3	3	3	14		
49	66	M	PAP	正常	経口			3	1	1						3	3	3	12	PAP:(35分後)ND(<0.05 μg/mL)*、吐物(+)*	

表3-5-2 有機リン剤(多剤併用)中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

多剤(農薬)併用 合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 5/5=100%、スコア0.4を除くと100%、 IPCS-PSSとJSPSS-2 5/5=100%

No.	年齢	性別	摂取物質	ChE値	摂取経路	臓器系別スコア													JPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果
						消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	死亡				
50	56	M	MEP、農着剤	低下	経口	1				1									1	1	10	
51	71	M	マラソン、ピリミホスメチル、フェノキシ剤	低下	経口	1	3	3	2	1				2					3	3	23	
52	63	M	MEP、エトフェンプロックス	低下	経口			1	3			2							4	4	2	MEP:(2病日)5.42ug/mL
53	77	M	DDVP、エマメクチン安息香酸塩	低下	経口	1	3	3	3										4	4	2	DDVP:(4時間40分後)0.5 μg/mL*
54	69	F	アセフェート、オルトクロロベンゼン	低下	経口		3	3	2		2	2	2						4	4	53	

多剤(農薬+その他)併用 合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 2/3=66.7%、 IPCS-PSSとJSPSS-2 2/3=66.7%

No.	年齢	性別	摂取物質	ChE値	摂取経路	臓器系別スコア													JPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果
						消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	死亡				
55	48	F	MEP、ベンゾジアゼピン系、アルコール	低下	経口	1				1									1	0	不明	MEP:(3時間20分後)0.5 μg/mL*、MNP:(3時間20分後)検出下限以下*
56	67	M	CYAP、アルコール	低下(軽度)	経口			3		3		2							3	3	不明	CYAP:(3病日)12.8ug/mL
57	52	M	MEP、ベンゾジアゼピン系、アルコール	低下	経口	2		3	3										3	3	15	MEP:(5病日)72.4ng/mL、(8病日)83ng/mL、(9病日)44ng/mL、(10病日)32ng/mL、(12病日)23ng/mL、(13病日)13ng/mL、(17病日)8ng/mL、(19病日)5ng/mL

表3-6-1 パラコート製剤(パラコート単剤) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

パラコート中毒症例のIPCS-PSSとJSPSS-1、JSPSS-2の合致率:(PSSとJSPSS-1)42/43=97.7% ⇒ (PSSとJSPSS-2)43/43=100%
 パラコート単剤の製品 合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 11/12=91.7%、IPCS-PSSとJSPSS-2 12/12=100%

No.	年齢	性別	性 摂取物質	採取経路	臓器系別スコア										JSPSS S-1	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果	
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚						眼
1	59	F	パラコート	経皮												0	0	0		備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果
2	44	F	パラコート	経口	1											1	1	24	尿中パラコート1ppm以上、9月6~8日の血中パラコート濃度は1μg/ml以下	
3	19	F	パラコート	経口	1	1										0	0	9	パラコート:0病日(2時間30分後)0.08 μg/mL、(5時間30分後)0.05 μg/mL	
4	0	M	パラコート	胎盤		3	3	3	1	2						4	4	9	パラコート:0病日(3時間後)0.06 μg/mL、75時間30分後)0.05 μg/mL	
5	59	M	パラコート	経口		3	3	3	2	3				1		4	4	2		
6	70	F	パラコート	経口	1	3			3	3						4	4	2		
7	48	M	パラコート	経口	2	3	2			3						4	4	1		
8	15	F	パラコート	経口	2	3			2	3						4	4	10		
9	66	M	パラコート	経口												4	4	3	パラコート:(3時間後)30 μg/mL	
10	84	M	パラコート	経口	1	3			1	2	3					4	4	12		
11	57	F	パラコート	経口	3	3		2	3	2	3	3				4	4	3		
12	47	M	パラコート	経口	1	2				2	3					4	4	28		

表3-6-2 パラコート製剤(パラコート、ジクワット配合剤) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

パラコート+ジクワット配合剤の製品 合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 25/25=100%、IPCS-PSSとJSPSS-2 25/25=100%

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	臓器系別スコア										ICPS -PSS S-1	JSPSS S-1	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚							眼	刺激
13	28	F	ジクワット、パラコート	経口													0	0		0	-	転院
14	60	M	ジクワット、パラコート	経口													0	0		0	5	
15	77	F	ジクワット、パラコート	経口													0	0		0	10	
16	69	M	ジクワット、パラコート	経口	1												1	1		1	26	
17	75	F	ジクワット、パラコート	経口		1	2						2				2	2		2	-	入院中(44病日)
18	68	F	ジクワット、パラコート	経口	1	2			1								2	2		2	-	転院
19	33	M	ジクワット、パラコート	経口	2												2	2		2	16	
20	43	M	ジクワット、パラコート	経口	1	1			1	1	1						2	2		2	-	入院中(21病日)
21	77	M	ジクワット、パラコート	経口													4	4		4	0	前胸部、左手首切創 パラコート:(15分後?)16.2μg/mL、ジクワット:(15分後?)18.6μg/mL、パラコート:(14分後)16.2μg/mL*、ジクワット:(14分後)18.6μg/mL*
22	58	M	ジクワット、パラコート	経口													4	4		4	0	
23	47	M	ジクワット、パラコート	経口						1	3	2					4	4		4	2	
24	80	M	ジクワット、パラコート	経口													4	4		4	1	
25	57	F	ジクワット、パラコート	経口		3	3			3							4	4		4	2	
26	35	M	ジクワット、パラコート	経口	1								3				4	4		4	2	
27	55	F	ジクワット、パラコート	経口	1	2	2			3	2						4	4		4	2	
28	66	F	ジクワット、パラコート	経口	1	2	2			2	2						4	4		4	2	
29	72	F	ジクワット、パラコート	経口													4	4		4	2	
30	65	F	パラコート、ジクワット	経口	1								2				4	4		4	2	
31	58	M	ジクワット、パラコート	経口		3						1	2				4	4		4	29	
32	71	F	ジクワット、パラコート	経口	1	3	1			2	3						4	4		4	64	
33	58	M	ジクワット、パラコート	経口	1	3				2	3						4	4		4	1	
34	63	M	ジクワット、パラコート	経口	2		2			3	2	1	2				4	4		4	18	
35	80	F	ジクワット、パラコート	経口	1	3				1			2				4	4		4	1	パラコート:(0病日)0.6μg/mL、パラコート:(0~14時間後)0.1μg/mL*、ジクワット:(0~14時間後)0.2μg/mL*
36	47	M	ジクワット、パラコート	経口	2	3	2			2	1	1	2				4	4		4	13	パラコート:(21時間後)0.11μg/mL、(34時間34分後)0.05μg/mL、パラコート:(2時間45分~26時間45分後)0.2μg/mL*、(28時間10分~52時間10分後)0.1μg/mL*、(35時間5分~59時間5分後)検出下限以下*、ジクワット:(2時間45分~26時間45分後)0.3μg/mL*、(28時間10分~52時間10分後)0.1μg/mL*、(35時間5分~59時間5分後)検出下限以下*
37	54	M	ジクワット、パラコート	経口													4	4		4	15	

表3-6-3 パラコート製剤(多剤併用) 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 6/6=100%、スコア0.4を除くと3/3=100%、 IPCS-PSSとJSPSS-2 6/6=100%

No.	性別	年齢	摂取物質	摂取経路	消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	臓器別スコア				血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	死亡	IPCS-PSS S-1	JSPSS-1	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果
										肝機能	腎機能	臓器	脳												
38	M	57	ジクワット、アルコール	経口	2		2	1	2					1						2		2	8	ジクワット血中濃度:2時間30分後 46 μg/mL、9時間45分後 2.6 μg/mL、47時間30分~71時間30分後 2.7 μg/mL、169時間30分~193時間30分後 0.8 μg/mL	
39	F	57	パラコート、バルビツール酸	経口	1	2	1			1										2		2	30	パラコート:(6時間10分後)0.6 μg/mL*、ジクワット:(6時間10分後)0.7 μg/mL*	
40	M	61	パラコート、MEP	経口	1			2				3								3		3	10		
41	M	64	パラコート、グルホシネート	経口	1	2	3	2	1			3							4	4		4	1		
42	M	56	パラコート、アルコール	経口	1	3	2	2				3							4	4		4	2		
43	M	53	パラコート、家庭用漂白剤	経口	1							3							4	4		4	24		

表3-8 メチルアルコール 中毒症例重症度評価(IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 12/18=66.7% ⇒ IPCS-PSSとJSPSS-2 16/18=88.9%

メチルアルコール(単剤)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 8/12=66.7%、IPCS-PSSとJSPSS-2 11/12=91.7%

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	臓器系別スコア			死亡	創傷	眼	皮膚	筋肉	血液	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果	
										肝臓	腎臓	脳											
1	12	M	メチルアルコール	経口																0	4	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果	
2	3	M	98%メチルアルコール	経口																	0	0	転院(重症管理目的)
3	1	M	メチルアルコール	経口																	0	0	メタノール(2時間後)検出下限以下*
4	19	F	燃料用アルコール(固型燃料)	経口	1		1														1	0	嘔吐、頭痛
5	24	F	99.8%メチルアルコール	経口	1		1														1	7	嘔吐、頭痛
6	14	M	70%メチルアルコール	経口	1			1													1	5	転院先入院を含む
7	16	M	メチルアルコール?	経口			2														2	不明	転院 血中濃度(38時間後)アセト酢酸 163 μmol/L、 3-ヒドロキシ酪酸 524 μmol/L
8	45	M	メチルアルコール?	不明	1		2		2												2	不明	入院中
9	39	F	燃料用アルコール	経口			3	1													2	-	入院中 メチルアルコール血中濃度 296mg/dL(6時間50分後)、311mg/dL(7時間30分後)、 164mg/dL(11時間30分後)、0.01mg/dL以下(29時間30分後)
10	52	M	99.9%メチルアルコール	経口			2		3	1	1										3	52	
11	26	M	99.6%メチルアルコール	経口	1	2	1		3												3	2	
12	48	M	メチルアルコール	経口			3														3	-	転院

メチルアルコール(エチルアルコール配合、多剤併用)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 4/6=66.7%、IPCS-PSSとJSPSS-2 5/6=83.3%

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	臓器系別スコア			死亡	創傷	眼	皮膚	筋肉	血液	IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2	入院日数	備考(血中濃度等の施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
										肝臓	腎臓	脳												
13	1	F	燃料用アルコール(メチルアルコール87%、エチルアルコール13%)	経口																	0	6		
14	21	M	燃料用メチルアルコール、有機リン剤、ジチオカバメート剤	経口	1		1															1	2	嘔吐、頭痛
16	28	F	工業用メチルアルコール、エチルアルコール(ビール)	経口			2															0	5	メタノール(1病日)2.56mg/g、(3~4病日)検出下限以下*、エタノール(1病日)1.29mg/mL*
15	35	F	工業用アルコール(メチルアルコール80%、エチルアルコール20%)	経口	1		2		1													2	5	尿中濃度(0病日) 9mg/L
17	24	M	メチルアルコール、エチルアルコール(酒)	経口			2		3	1												3	41	メタノール(3病日)2.7mg/mL、(透析前)2.6mg/mL、(透析後)0.76 μg/mL、辛酸(3病日)969 μg/mL、(透析前)944.4 μg/mL、(透析後)400 μg/mL
18	27	M	エキネンアルコール(メチルアルコール70%、エチルアルコール30%)	経口																		4	2	

表3-9 エチレングリコール 中毒症例重症度評価 (IPCS-PSS、JSPSS、JSPSS-2)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 15/21=71.4% ⇒ IPCS-PSSとJSPSS-2 20/21=95.2%
エチレングリコール(単剤)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 14/19=73.7%、IPCS-PSSとJSPSS-2 18/19=94.7%

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	臓器系別スコア													入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	死亡			IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2
1	25	F	家庭用 保冷剤	経口														0	0	0	
2	0	F	家庭用 保冷剤	経口														0	0	0	
3	78	F	クーラント(自動車用)	経口														0	0	3	
4	1	M	柔軟仕上げ剤	経口														0	0	0	
5	1	M	柔軟仕上げ剤	経口														0	0	0	
6	36	M	クーラント	経口	1													0	0	0	嘔気
7	56	M	クーラント(自動車用)	経皮											1			1	0	3	顔面発赤
8	26	M	自動車用 ウィンドウ オツシヤヤー液	経口	1					1								1	0	1	嘔吐、頭痛
9	30	M	自動車用 ボディー用 洗浄剤	経口	1				1									1	0	1	嘔気、嘔吐
10	76	F	縄取り剤	経口	1													1	0	1	嘔吐
11	80	M	家庭用 保冷剤	経口		1			1									1	1	3	
12	59	M	家庭用 保冷剤	経口		1			1									1	1	?	
13	17	F	柔軟仕上げ剤	経口		1			1									1	1	6	
14	30	M	クーラント	経口	1							2						2	2	15	
15	31	M	家庭用 保冷剤	経口		3	2	3				3						3	3	17	エチレングリコール:第1病日(透析前) 52mg/dL、(透析後)21mg/dL、第2病日(透析前)13mg/dL、第3病日(透析前)1mg/dL未滿
16	77	F	家庭用 保冷剤	経口		3	1	2	1			3						3	3	32	
17	21	M	クーラント	経口		1						3						3	3	22	
18	53	F	クーラント(自動車用)	経口		3	2	3	2			2						3	3	24	エチレングリコール:第1病日17.1(単位不明)
19	64	M	ウォッシュヤー液(推定)	経口	2	2	3	3	3									4	4	2	

エチレングリコール(多剤併用)

合致率:IPCS-PSSとJSPSS-1 1/2=50%、IPCS-PSS、JSPSS-2 2/2=100%

No.	年齢	性別	摂取物質	摂取経路	臓器系別スコア													入院日数	備考(血中濃度等の自施設での分析値等) *広島大学を窓口にし、分析した結果		
					消化器系	呼吸器系	神経系	循環器系	代謝系	肝機能	腎機能	血液	筋肉	皮膚	眼	刺創	死亡			IPCS-PSSとJSPSS-1の相違点	JSPSS S-2
20	19	F	浴室用洗浄剤、カビ取り剤	吸入			1											1	0	1	嘔気、過呼吸
21	29	M	エチレングリコール、スギヒラタケ、アルコール	経口		3	3	3	3									4	4	4	不明